



▲ ドームハウス



▲ 岸良から見た虹



## 地域を変える

# POWER!!

地域おこし協力隊 活動報告 木村 誠さん

春になりました。暖かくなってきました。

寒かった冬ですが、活動としては、鹿児島は全国で最も竹が多いらしく、真竹、ホウライ竹や孟宗竹などを活かしたドームハウス作りをしました。

知人やいろんな方のドームの形を参考にして、「宇宙船地球号」という言葉をしたバックミンスター・フラーさんの名前が由来のフラーレンというサッカーボールの形にしました。

フラーレンは高齢の星の気によく見られる炭素が丸く結合した分子で、超電導にも役立つものらしいです。これからの地球に注目さ

れそうなフラーレンですが、そんな形のドームは、ガーデンテラス、屋台や休憩所などに活用できるかと思いい、竹で組み立ててみましたが、キャンプで星を眺めるのにも良さそうです。

これまでの、地域での活動を思い返して、米ぬかと土を混ぜた発酵団子を作って、土壌改良の環境活動に参加した後、虹を見た事は地球が応えてくれたようで、印象深く嬉しかったです。

ホーリーバジルのハーブの世話をし、ブルーベリーも見れて幸せでした。三密を控える中、地域の自然に親しむ事が出来たのも、温かく活動を見守って頂いた事も感謝しています。ありがとうございました。

いろいろお世話になりました。どうも、ありがとうございました。

## 地域を変える

# POWER!!

地域おこし協力隊 活動報告 茂又 久美子さん



植物が芽吹き、お花が綺麗な季節になりましたね。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私は3月末で1年の任期を終え、肝付町を離れることになりました。

急な決断で、お一人お一人にご挨拶したかったです。が、全ての方にはお会いできず、この場を借りてお礼を申し上げます。

お料理教室、クラフト教室、墨絵教室で一緒に過ごさせていただいた皆さま、みんな食堂の皆さま、デイサービスの職員の皆さま、岸良の皆さま、川上の皆さま、それと、個人的に相談に乗ってくれたり、気にかけてくれた方々、仲良くしてくれた皆さま、短い間でしたが、いろいろとお世話になりました。

今回の引っ越しも、そんな出逢いによるものでした。突然でも新しい流れがやってきたら、私は乗るようになります。そこには、新たな可能性が広がっているように感じるからです。

出る前にご挨拶に伺った時、励ましの言葉や、厳しくも温かい言葉を頂き、だんだん寂しさが込み上げてきて、離れがたく感じました。皆さまの沢山の愛情が心に広がって、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

肝付町に来るときに、私は沢山のやりたいことを計画してきましたが、コロナ禍でそれを実現できなかったことがとても残念です。

人生も旅も、出逢いと別れの連続ですね。一瞬の出逢いや数時間共に過ごしただけでも、忘れられない出逢いもありますし、長い時間を共にして密度を深める出

先が見えにくい時代ではありますが、毎日を楽しく、自分や周りの人を大切にしていけることは変わらないと思います。

皆さまの、健康と御多幸を願っています。ありがとうございました。